



ジェネックス今月のトピックス!



新しい仲間が増えました!



1月入社
名前:ジェフリーケンジ

血液型:A型

趣味:サッカー・ゴルフ・音楽等
休日はアクティブに動くか、子供と外で遊んでいます。

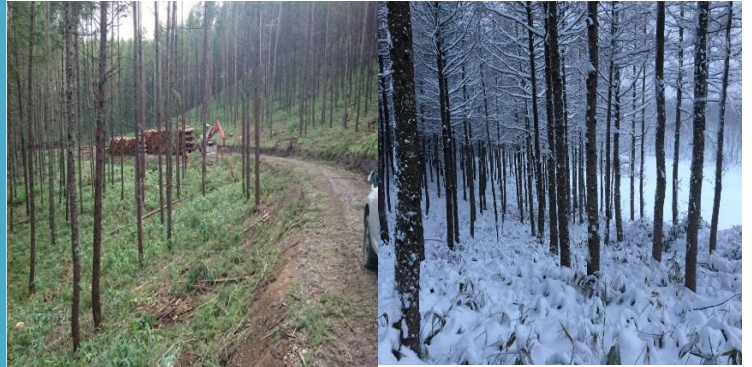
抱負:自分自身もレベルアップしながら、会社とともに成長していきたいと思います。
施工管理の経験を活かして力になりたいと思います。

北海道事情

藤井です。長期出張で12月から北海道にきています。
そこで、愛知から来て独特な北海道の生活に驚いたところを紹介します。
(道東の鶴居村というところなので札幌などとはまた違います)

林業・バイオマス

- ・朝起きると玄関が凍る。
最低気温が-26度になることもあります。
-20度を下回ると朝、玄関が凍りつきます。
金属のドアノブだと手がノブにくっつきます。
- ・雪が降ると暖かい。
雪が降っていないときの方が寒いです。
これは、上空が厚い雪雲に覆われるので
地表からの放射冷却が抑えられるからです。
- ・携帯の充電の減りが恐ろしく早い。
ジェネックス通信の12月号でもありましたが、
充電の減りが恐ろしく早いです。満タンに充電しても
外にいると2時間ほどで無くなります。暖めると回復
します。
- ・百人一首が流行している。
北海道では百人一首がかなり盛んです。
大人も子どももそれぞれ年間10回ほど大会があります。
上の句を詠んで下の句の札を取る本州のものとは違い、
北海道の百人一首は下の句を詠んでカルタみたいですよ。



北海道は、本州と比べると土地が広く傾斜が緩やかな地形が多いため比較的林業に適しているように思います。酪農が盛んで、農家さんは牧草を育てる為に広い土地を所有しています。そのため、山主さんは農家さんであることが多いです。

北海道で林業、バイオマスを考えて農家さんとの関係は必須です。酪農と林業、バイオマスは相性がよく、間伐に出てきた低質の材をおが粉にして、家畜の寝床やトイレに使われます。おが粉にならない材は燃やしてバイオマスエネルギーにし、畜舎の暖房や乳製品の保温に使うなど考えられます。家畜の糞尿はバイオガスエネルギーとしても使う事も出来ます。まだまだ考えられる事はたくさんあります。

北海道にジェネックスあり!と言われるように引き続き、取り組んでいきます。

世の中のバイオマスの動き

馬糞、コーヒー粕、建設廃材も燃料にできる 【環境ビジネス】掲載
小型バイオマス発電システム (2/9)

北海道ガス、101%道内産の木質バイオマス発電所からFIT電気調達
北海道ガスによると、この電力は100%道内産の未利用木材

(林地残材、年間約6万トン)を発電燃料とし、FITに基づき同社が発電電力の全量を買取る。
年間買取量は4,000万kWhを予定(一般家庭約10,000世帯分の年間使用量に相当)。(2/6)

ドイツ再エネ視察セミナー日程 4/5(水)~4/13(木)

ご一緒にセミナー参加はいかがでしょうか。お気軽にお問合せ下さい。



※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行「いつでもお問い合わせください。」